



## 新型コロナウイルスと環境問題

副会長 浅川 琢夫 (キッセイ薬品工業株式会社 総務部顧問)

### ●新型コロナで考えたこと

本格的な冬を迎える拡大が懸念される新型コロナウイルス感染症ですが、長野県環境保全協会の活動におきましては、例年実施していた行事の多くが中止を余儀なくされるなど、環境保全に関する啓発活動が不十分な一年となってしまいました。

ほんの数ヶ月で世界中の人々を苦しめ、暮らし方や働き方まで変えてしまった新型コロナですが、環境問題との関連で見ると、感染拡大対策により経済活動が停滞し、また人の移動も激減したことによって世界のCO<sub>2</sub>排出量が大幅に減少しました。環境改善という面ではプラスに働きましたが、これは一時的な改善であり、あくまでも新型コロナによる活動自粛で偶発的に起きた現象にすぎません。本年レベルのCO<sub>2</sub>排出量で今後も経済が持続できればパリ協定が目指す目標も達成できるのかもしれません、このコロナ禍で大変な状況になっている企業や市民の姿を目のあたりにすると、このまま経済活動を抑えてまで環境改善を実現しようなどとは誰も思わないでしょう。一方で、今後のポストコロナにおいて、一時的に良くなった現在の地球環境を維持しながら、新型コロナ以前の経済活動に戻すことが出来ないだろうか。今回の新型コロナはそのことを本気で考える機会となりました。

### ●脱炭素は原発ではなく再エネ

そんな中、環境対策で積極的な欧州に加え中国も炭素ゼロを表明し、更に日本でも菅義偉首相が10月26日の所信表明演説で、温室効果ガ



スの排出量を2050年まで

に実質ゼロにする、脱炭素社

会の実現を目指すことを宣

言しました。この脱炭素には

原子力発電の再稼働も含め

いくつかの選択肢があるよ

うですが、ぜひとも自然エネ

ルギーへの思い切った転換

になることを願います。太陽光発電や風力発電

などの再生可能エネルギーへのシフトが実現すれば、それに取り組む企業が増え、社会全体とし

てもこれまでの経済活動を維持しながら環境改善も実現できるでしょう。政府が民間企業に対

して手厚い支援を行い、社会全体が気候変動対策の実現にむけて動き出すことを期待します。

### ●私たちにできること



賢い選択



未来のために、いま選ぼう。

同時に私たちに出来ることは、環境対策に前向きな企業に投資をする、その企業の製品やサービスを購入したり利用したりする。また、環境省が推進する地球温暖化対策のための国民運動「COOL CHOICE (=賢い選択)」にあるような地球にやさしい取り組みを一人一人が日常生活の中で選択することであり、地球温暖化対策にむけ企業と消費者が一体となって取り組む時代だと思います。次世代が現在よりも良い地球環境の中で暮らせるように現世代が少しでも意識して行動することが大切です。

このように、今年は、新型コロナにより、環境問題や行動様式などを改めて考え方となりましたが、2021年は新型コロナウイルス感染症が収束し、長野県環境保全協会会員として、より強く環境問題を意識しながら、これまでのような環境保全にむけた啓発活動を実施できる年となることを強く願っております。





## わが社の SDGs

—— 会員の皆様の取り組みを隨時ご紹介します ——

## 株式会社ニットー ~社会、自然環境と調和した企業活動を目指して~

当社は、光学ガラスや電子デバイス部品の精密平面研磨加工を主業務としております。今回、改めて、地域社会と地球環境維持の対応策をより強めようとの考え方から、環境にやさしい企業作りに取組み、県の第5期 SDGs 推進企業に登録頂きました。

省エネ推進委員会を中心に環境面に注力し、エコキュートの排水の廃熱利用による使用電力削減など新たな省エネにつながったことから、令和元年度エネルギー管理優良事業者として関東経済産業局長表彰を受賞しました。今後は、ポンプのインバーター化、空調機器の更新など、より一層の省エネ活動を進めてまいります。



製品においては、環境面を配慮した資材の購入・使用はもちろん、廃棄まで考慮し、循環サイクルを重視した工程設計を行っており、産業廃棄物の削減等、環境にやさしい生産活動を目指し取り組んでおります。

加えて、近年では廃ガラスを再利用したデザインガラスの製作も行っております。

また、従業員の“働く環境”も重視しており、ユースエール（厚労省）、職場いきいきアドバンスカンパニー（長野県）、くるみん

（厚労省）、健康経営（経産省）などの認証維持など、従業員のパフォーマンスを最大限発揮できるバックアップ体制も整えています。

そして何よりも須坂市の地域の皆様に支えられて日々業務ができる現状に感謝しながら今後も SDGs を推進してまいります。

(管理部 栗田 哲夫)

写真上：工場廃水を浄化した環境池 左：主力の両面研磨装置

## 富士印刷株式会社 ~責任ある森林管理の下で生産された林産物の利用を通して~

当社は2008年に、森林認証制度である「FSC®-CoC 認証」(ライセンスコード FSC®020425)を取得しました。当社が多く取り扱うパンフレットやフライヤー等の販促ツールの印刷は、木材由来のチップを使って製造される印刷用紙を主な原材料としています。

環境保護の観点から近年注目されているFSC認証紙は、国際的なNGOであるFSC®(森林管理協議会:Forest Stewardship Council®)の責任ある森林管理や加工・流通の規格に則り認証された紙で、適切に管理されたFSC認証林、再生資源およびその他管理された供給源からの原材料から作られています。

FSC森林認証では10の原則が存在し、その中には「地域社会との関係と労働者の権利」や「環境への影響」等、SDGsの目標にも共通するものがあります。

\*このエコシンは富士印刷(株)がFSC認証紙に印刷しています(4面右下にFSC認証マーク記載)。



当社では、特に環境に関する印刷物、教育や地域活動に関する印刷物については、できる限りFSC認証紙を採用していただけるよう、豊富に用紙を取り揃えご提案いたします。

この緑豊かな環境で暮らす子どもたちに「この森林認証のマーク見たことがある!」「森を守るしんだね!」と日常の会話の中でも使ってもらえるような長野県を目指して、これからも取り組んでまいります。

(専務取締役 倉田 勉)



## 地球温暖化防止活動推進センター通信



### 〈市センター〉秋のイベントレポート（11/8日）

#### 親子わくわくフェスタ

長野市教育委員会主催の「親子わくわくフェスタ」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事前予約により、各種教室を開催しました。このイベントは、親子の学びを通して親子の触れ合いの機会を提供するもので、長野市センターでは、小型デジタル地球儀「スフィア」を使って、地球の状況をシミュレーション体験する「地球観察教室」を全6回開催、52組の親子に参加いただきました。地球の温暖化の状況や、去年、長野市で大きな被害を受けた台風の発生から進路、雲の大きさなどを画像で見る

#### 自然エネルギーってすごい！親子環境学習会

長野市・長野市センター共催の「親子環境学習会 自然エネルギー普及シンポジウム」が、長野市役所第一庁舎の市民交流スペースで開催されました。親子45組の募集に対して倍近



ことで、自然環境について学ぶ機会を提供できましたと考えております。



い応募があり、抽選とさせていただきました。

例年、親子体験工作教室としてソーラーカーを国立長野工業高等専門学校の大澤名誉教授指導の下で制作しましたが、今年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ミニソーラーカーをお持ち帰りいただくこととしました。

展示コーナーでは、燃料電池実験器やペルティ工熱電交換実験器、微風風力発電機、発電床等を紹介し、アニメ「地球との約束」も上映され、大人も子どもも真剣な表情で参加していました。今回初めて太陽光発電設備設置初期費用ゼロ促進事業を紹介するコーナーを設けたところ、関心を持つ方も多いいらっしゃいました。

### 〈県センター〉『[信州版]冬の省エネガイドブック』ができました！

『夏の省エネガイドブック』に引き続き、エネルギー使用量が多くなる冬の省エネ対策をまとめたガイドブックが、県推進員有志の皆様により作成されました。冬の寒さが厳しい長野県の気候特性にあわせた、推進員さんの実体験の工夫や提案が随所に盛り込まれています。

- \* この冬の天候は？～気象予報士からの解説～
- \* 「暖かく」住み、「暖かく」すごすコツは？  
暖房器具／家の断熱
- \* 家庭での冬の節電術  
水道の凍結防止ヒーター／給湯器／家電／電気ポット
- \* 自動車のかしこい使い方は？ エコドライブ／エコカー
- \* 冬の食生活 調理時のエネルギーのかしこい使い方は？／ごみを減らして地産地消の根菜類をムダなく食べる
- \* 他にもこんな取組みがあります！

買い換え時には省エネ性能の高い家電を／フィトテラピー(植物療法)と冬の体調管理／バイオマスエネルギーの利活用

長野県センターホームページから PDF(A4判・32頁)をダウンロードしてご覧ください。

([http://www.dia.janis.or.jp/~nccca/syoene\\_guidebook.html](http://www.dia.janis.or.jp/~nccca/syoene_guidebook.html))



## 報告 セミナー「地域と調和した太陽光発電」

SUWACO Labo は長野県と岡谷酸素(株)、自然エネルギー信州ネット、信州ネット SUWA と合同で毎年開催している自然エネルギーの普及活動イベントです。今年は 10 月 24 日に茅野市民館からオンライン中継でセミナーを行いました。

### ●メガソーラー撤退が残した 2 つの課題

現地では霧ヶ峰の麓の林地を利用した大規模なメガソーラーの開発が予定されていて、その是非が問われていました。今年、事業者の撤退が決まりましたが、それでも大きく二つの課題が残りました。

一つは、**森林をどう維持するか**。そもそも予定地の森林からは安定的な収益を望めないと判断したため、メガソーラー開発業者への土地売却を考えた背景がありますが、欧洲では、森林は持続可能な収益を農村にもたらす安定的な資産であるとされています。日本の森林経営のあり方を転換させる必要があります。

もう一つは、**太陽光発電へのイメージが毀損されたことです**。大量のゴミになる、製造時に多大なエネルギーを使うのでエネルギー代替にならない等、メガソーラー反対運動をする住民の一部から疑問が挙げられていましたが、今回のセミナーでは、そのようなイメージが余り正確ではないことを学ぶことができました。



### ●太陽電池のウソ?ホント!

セミナーは三部構成で、諏訪の県有施設の屋根を使った「岡谷酸素太陽光発電所 SUWACO Labo」の取組みの紹介、県ゼロカーボン推進室より屋根活用太陽光の推進施策の説明、産業技術総合研究所で太陽電池研究を牽引してきた櫻井啓一郎氏による最新の世界状況の講演です。

講演では、たとえば廃棄に関して、太陽電池は高品質のガラスやアルミニウムが主な成分なので、実は大量のゴミというより「リサイクル資源」

であり、欧洲などではリサイクルの義務化もされた結果、問題とされていないこと。製造工程や品質の向上により、製造と廃棄時に必要なエネルギー消費分は、一年も経たない程度で発電して代替できること、などです。温暖化対策への有効性と同時に、非常に安価で高品質の太陽電池が作れるようになった結果、経済優位性も高く、化石燃料を使った発電よりもコストが安くなってきていることも、明らかにされました。

ちょうどセミナー開催当日、リビルディングセンターの建物上で「相乗りくん太陽光発電所」が稼働を始めたことが報告され、諏訪地域での太陽光への関心の急速な高まりを感じました。

(自然エネルギー信州ネット 浅輪 剛博)

## 〈長野市センター〉 地球温暖化対策がテーマの動画作品募集中（～1/29）

長野市センターでは長野市との共同事業として環境活動の動画を募集しています。最近、メディアでは高校生や大学生などが、環境活動に取り組んでいる話題が多く取り上げられています。そういう一人一人が環境のためにできる取組について、

### ■ カレンダープレゼント会のお知らせ

**諏訪支部**：12/29（火）・30（水）9 時～15 時  
八十二銀行 岡谷・下諏訪・諏訪・茅野・富士見 各支店  
**諏訪信用金庫** 本店、下諏訪・上諏訪・茅野・富士見東 各支店  
**その他の支部**：今年は会場の三密回避対策が困難なため開催を見合わせました。

**〔発行元〕** 〒380-0835 長野市新田町 1513-2 (82 プラザ長野)

### ●一般社団法人 長野県環境保全協会

TEL:(026)237-6620 FAX:(026)238-9780 E-mail:nace@janis.or.jp http://nace.main.jp/

### ●長野県地球温暖化防止活動推進センター

TEL:(026)237-6625 FAX:(026)238-9780 E-mail:nccca@dia.janis.or.jp http://www.dia.janis.or.jp/~nccca/

### ●長野市地球温暖化防止活動推進センター

TEL:(026)237-6681 FAX:(026)237-6690 E-mail:eco-mame@dia.janis.or.jp http://www.eco-mame.net/

### ■ 協会行事等の予定

- ◆年末年始休業 12/29（火）～1/3（日）
- ◆キッズサイエンス 1/16（土）

長野市少年科学センター 小型デジタル地球儀スフィア出展  
＊新型コロナウィルス感染症拡大防止のため延期や中止となることもあります。

誌名の「エコシン」は「エコ信州」の略称です

